

# 自閉スペクトラム症と知的障害で 「私」の発達は異なるのか？

～心理療法と発達研究の視点から～

オンラインで  
無料開催！

令和2年12月6日(日)

13:00～15:00



発達心理学や脳神経科学の知見から、自己や「私」は他者との関係性に依りて生成されることが示されています。一方で、知的障害や発達障害のある人の中には、他者との関係性において「私」を捉えることが困難であったり、そのことで苦悩を感じる実態があります。

今回は知的障害や発達障害のある人に対する心理療法を実践・研究されてきたお二人の研究者をお招きし、「私」を巡る発達の差異や臨床的問題とその実践について話題提供をしていただきます。そして、発達心理学の立場から自閉症や自己の発達を研究されてきた浜田寿美男先生に指定討論者としてコメントいただきます。

障害のある人への心理療法的アプローチの可能性と課題や、障害のある人の「私」の生成を巡って、心理療法と発達研究等の学際的視点から議論をしたいと思えます。心理職、大学院生、関連職種、どなたでもご参加下さい。

話題  
提供1

「自閉スペクトラム症の受身性の文脈から」

松本 拓真 氏（岐阜大学教育学部准教授）

話題  
提供2

「知的障害をもつ人の『私』とその心理療法について」

中島 由宇 氏（東海大学文化社会学部特任講師）

指定  
討論

「発達心理学の立場から」

浜田 寿美男 氏（奈良女子大学名誉教授）

# 講師プロフィール



## ◆中島 由宇 (なかしま ゆう) 東海大学 文化社会学部 特任講師

東京大学大学院教育学研究科博士課程単位取得退学。学習院大学博士(臨床心理学)。精神科病院勤務などを経て、現職。臨床心理士・公認心理師。著書は、『知的障害をもつ人への心理療法—関係性のなかに立ち現れる“わたし”』(単著、日本評論社)、『発達障害の理解と対応—心理臨床の視点から』(共著、金子書房)、『発達障害の心理臨床—子どもと家族を支える療育支援と心理臨床的援助』(共著、有斐閣)。



## ◆松本 拓真 (まつもと たくま) 岐阜大学 教育学部 准教授

大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程単位取得退学。児童相談所・クリニック・知的障害児通園施設心理職を経て、現職。博士(人間科学)。臨床心理士、公認心理師、子どもの精神分析的な心理療法スーパーバイザー(コンサルタントセラピスト)。本テーマに関わる研究をまとめて2017年『自閉スペクトラム症を抱える子どもたち—受身性研究と心理療法が拓く新たな理解』(金剛出版)を上梓。共同編集した『子どもの精神分析的セラピストになること—実践と訓練をめぐる情動経験の物語』(金剛出版)が近日出版予定。



## ◆浜田寿美男 (はまだ すみお) 奈良女子大学 名誉教授

京都大学大学院文学研究科博士課程(心理学専攻)修了。花園大学文学部講師、助教授、教授、奈良女子大学文学部教授を経て現在、立命館大学上席研究員。専門は発達心理学、法心理学及び供述分析。『「私」とは何か』(単著、講談社)、『身体から表象へ』(単著、ミネルヴァ書房)、『「私」をめぐる冒険』(単著、洋泉社)、『親になるまでの時間 前編・後編』(単著、ジャパンマシニスト社)、その他著書多数。



**セミナー日時: 令和2年12月6日(日)13:00~15:00**

本セミナーはZOOMによるオンライン形式で行います。参加費は無料です。  
心理職、大学院生、関連職種、どなたでもご参加下さい。



### 参加申込・問い合わせ

- 下記メールアドレスまで、件名を「セミナー申込」とした上で、①お名前、②ご所属をメールで、12月3日までにお申込下さい。
- 前日にZOOMの招待メールを送信します。  
※お送りいただいた個人情報は、本イベントの運営の目的のみに使用いたします。



**山根隆宏 (神戸大学大学院人間発達環境学研究科)**



**yamane@pearl.kobe-u.ac.jp**

